

*-Magazine-*



***Astronomy Club***

---

甲陽学院中学校 天文部 部誌 2020

## はじめに    天文部   部長 2-C 佐野   将太

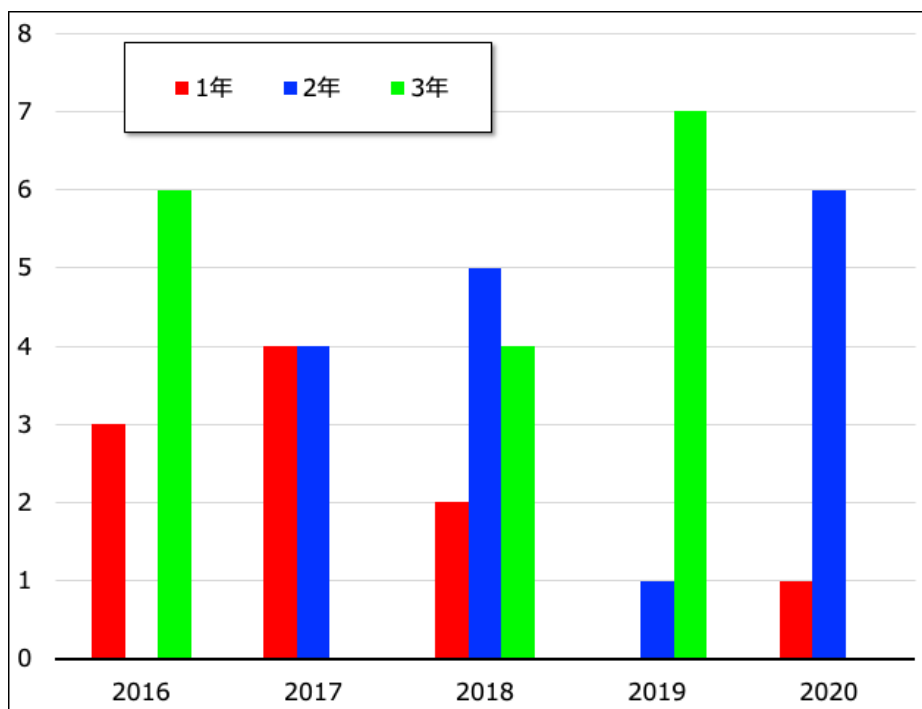
本日は、天文部にお越しいただきまして、有難うございます。今年は幸運な事に一年生の新入部員も来てくれました。今年の天文部は、ほぼ新入メンバーのみで、しかも新型コロナウイルスの蔓延といった事もあり、なかなか上手くいかなかったり、従来の天文部の展示内容とは変えざるを得ない状況でした。しかし、それなりに中身のある展示を頑張ったつもりですので、是非ご覧になっていって下さい。また、手書きのものも多く、読みづらい点もあるかと思いますが、どうかご一読下さい。

皆様が、少しでも音展を、そして天文部の展示を楽しんでいただければ幸いです。

## 目次

(省略)

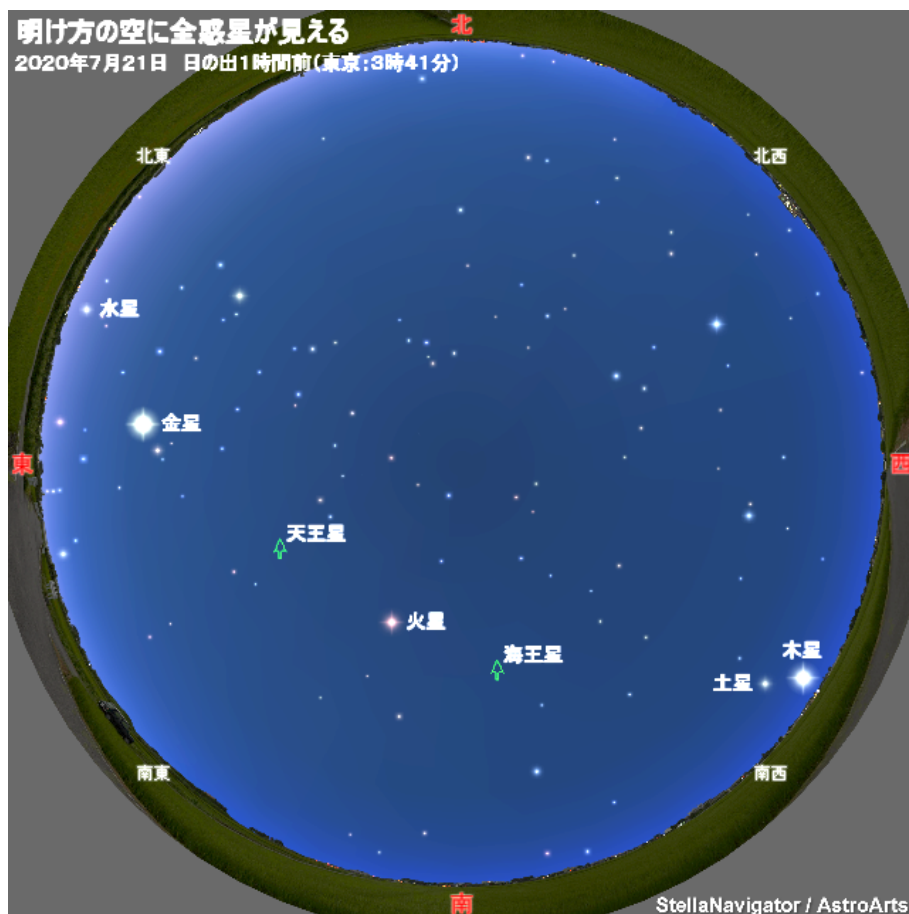
## 部員数の推移



## 今年のトピックス

### 1. 2020 年 7 月下旬 明け方の空に全惑星が見える

7 月中旬から下旬にかけて、明け方の空で、水星から海王星まで全惑星を見ることができた。



[ StellaNavigator にて作成 ]

7 月 16 日ごろから 26 日ごろまで、明け方の空に水星から海王星まで 7 惑星が全部見えた。一度に全惑星を眺めることができるという珍しい機会だ。さらに 19 日ごろまでは下弦過ぎの細い月も同時に見ることもでき

た。

タイミングは日の出の1時間前から30分前くらいの約30分間となる。これより早いと東北東の空の水星が低すぎて見づらく、反対にこれより遅いと南西の空の木星が低くなってしまふ。見晴らしの良いところで観察しよう。また、天王星と海王星を見るには少なくとも双眼鏡が必要となる。

一度に見るという制限を外せば、宵のころに木星と土星を見ておき、空が暗い時間帯に天王星と海王星を見つけて、明け方に水星を探せば多少は見やすくなった。肉眼でも水・金・火・木・土星（と地球、月）は見え、双眼鏡や天体望遠鏡なら木星のガリレオ衛星や土星の衛星タイタンなどまでも観察できた。

## 2. 2020年8月12日 ペルセウス座流星群が極大

8月12日、ペルセウス座流星群の活動が極大となった。極大時刻は深夜22時ごろと予測されており、12日の深夜から13日明け方にかけての時間帯で観測を試みたが見えなかった。

下弦の月が夜空を照らすため条件はやや悪いが、ペルセウス座流星群の流れ星は明るいものの割合が多いので、月から離れた方向を中心に広く空を見渡せば、流れ星が見える可能性は高い（見晴らしが良く空気が澄んだところで1時間あたり30個前後は見られるだろうと言われていた）。

ペルセウス座流星群は、1月のしぶんぎ座流星群、12月のふたご座流星群と並ぶ三大流星群の一つだ。速度は速めで、流れ星の後に煙のような痕が見られることも少なくない。母天体はスウィフト・タットル彗星。



[ StellaNavigator にて作成 ]

## 個人研究：月と月についての文化 (I-A 横内 悌央)

(月についての簡単な説明)

まず月についてですが、地球の衛星で直径は地球の  $1/4$ 、重さは  $1/81$  です。

月は様々な時代、地域の文化に様々な影響を与えました。

この中でも面白い話二つ紹介します。

(ラスコー洞窟)

月の確認できる最古の文化(思想)は、有名なラスコー洞窟の壁画です。つまり、最低でも1万5千年以上も前から月は人の心の中にあったという

ことです。

(ハランの神殿)

トルコ南東部のハランでは月と強い繋がりを持ち、三千年以上にわたって月神「シン」の聖地でした。やがてバビロニアの王「ナボニドゥス」によってハランに神殿が建てられました。その後いろいろな国のもとにハランはありましたが、前1世紀にローマ軍に征服されました。しかし、ローマ人は月に対して敬意をはらわなかったために、ハランで大敗し、クラッススは戦死します。つまり、ローマ人は月を大切にしなかったため、月の怒りを買いました。

ハランの神殿はローマの皇帝によって何度か壊されました。結局テオドシウス一世に壊された後再建され、元の征服以降は封鎖され砂に埋もれました。なので今は神殿の一部しか見えません。

(おまけ)

最後に月見団子の作り方を説明します。基本的には白玉団子に甘辛あんをかけて完成です。

甘辛あんは、材料「醤油大さじ三・砂糖大さじ二・みりん大さじ一・水100cc・片栗粉大さじ一」を鍋に入れ弱火でかき混ぜとろみが出るまで煮ます。

団子は、ボウルに白玉粉と水それぞれ200ccずつ入れ、耳たぶ程の固さに練り、分けて丸めます。そして熱湯に団子を入れ、1、2分たったらずるととり、冷水に入れて水をきります。

最後に甘辛あんをかけて完成です。

## あとがき 天文部 副部長 2-E 赤曾部 岳

これで、天文部の部誌は以上となります。いかがでしたでしょうか。「天文部ってこんな活動をしているんだあ」と思っていたいただければ幸いです。まえがきで部長からもありました通り、今年の天文部は廃部寸前から新入部員が入りなんとか今日まで活動できている次第です。これからの音展でも、さらに天文部のことを知っていただける機会にしていきたいと思います。

## 今年の天文部部員

2 年 佐野 将太

齋藤 優

都筑 紘一郎

若園 太門

吉川 勝統

赤曾部 岳

1 年 横内 悌央

### ご協力いただいた方々

山道 誠太

杉原 拓実

東本 橙和

角 勇人

その他様々な生徒・先生

## 最後に

天文部より皆様にお願ひがあります。

1. 展示で何かわからないところがございましたら部員に遠慮なくお申し付けください。
2. アンケートにご協力ください。アンケートはこの部誌に挟まっています。今後の天文部の活動の参考にさせていただきますのでよろしくお願ひします。なお、電子版もございます。QR コードはアンケート用紙に添付しておりますのでご確認ください。